

2 具体的施策

【基本戦略A】 生物多様性の発見と行動の展開

ねらい：子どもたちを中心に身近なところで自然体験や生き物を発見する取組みを進めることにより、生物多様性に関する意識を高め、環境や生き物の多様性を守る行動へとつなげます。

方針Ⅰ 身近なところでの生き物・植物の発見

子どもたちをはじめ市民とともに身近なところで、生き物や植物を発見していく取組みを進めます。

【具体的施策 No.01】

取組み	身近なところで生き物・植物を見つけよう
内容	<p>大阪市内の身近なところで、環境 NGO/NPO などと連携して、生き物・植物調査を実施するとともに、ホームページや広報紙などで市民、特に子どもたちに取組みへの参加を呼びかけます。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内の学校園などにおける校園内及び周辺での生き物・植物の観察・発見の企画・実施 ○身近な公園などでの生き物・植物調査の企画・実施
関係所属等	区役所、こども青少年局、環境局、建設局、教育委員会事務局、自然史博物館、環境科学研究センター、天王寺動物園
関係先	市民、環境 NGO/NPO、研究機関、事業者

小学校での生き物さがし

大阪市では、大阪市立の小学校で「生き物さがし」をしています！

4年生の児童と一緒に校内に生息・生育する生き物を調査する体験型の出前授業で、生き物がいる環境を守ろうという意識を育み、生物多様性の保全につなげることを目的としています。

講師である大阪市エコボランティアの方々から植物や昆虫の形や色彩等について説明を受けることで、児童たちの生き物への興味や関心が深まります。

また、2020年度より、大阪 ECO 動物海洋専門学校の学生の皆さまにエコボランティア活動の一環として、講師のサポートをしていただいています。子どもたちのお兄さんお姉さんのような存在で活躍している姿はとても頼もしいです！

小学校での生き物さがしの結果は、大阪市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



生き物さがしの様子



講師による説明



／
詳しくは
こちら
＼

市立小学校での生き物さがしの結果（大阪市 HP）

方針Ⅱ 自然体験を通じ、身近な都市の魅力としての気づきを促す取組み

市民が身近な自然や生き物に親しみ、学び、実際に体験することで、都市にいながら自然の魅力に気づいてもらえるよう取り組みます。

【具体的施策 No.02】

取組み	野外で自然とふれあえる機会を増やそう
内容	<p>環境 NGO/NPO などと連携して、大阪市内の自然環境（河川敷、都市公園、臨港緑地など）を活用した体験型環境学習講座や、生物多様性関連施設（P72～75 を参照）の様々な機能を活用した体験型イベントなどを実施するとともに、ホームページや広報紙などで市民などに幅広く参加を呼びかけます。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○花博記念公園鶴見緑地内の「自然体験観察園」を用いた環境学習講座の実施 ○生物多様性関連施設による各施設の特徴を活かした体験型イベントなどの企画・実施 ○水田や畑などを活用した農事体験行事の実施
関係所属等	区役所、環境局、建設局、自然史博物館
関係先	環境 NGO/NPO、研究機関、事業者

【具体的施策 No.03】

取組み	環境保全活動などに取り組む「大阪市エコボランティア」をしよう
内容	<p>自然環境保全や生き物・植物に関して知識のある方々や興味のある方々に、ボランティアとして環境学習事業の運営に関わっていただくため、「大阪市エコボランティア」をホームページなどで幅広く募集します。</p> <p>【エコボランティアに関わっていただく主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境学習に関する講座及びイベント ○自然体験観察園に関する事業 ○こどもエコクラブ事業 ○環境学習ネットワーク強化に関する取組み ○その他環境保全に資する活動（生き物調査など）
関係所属等	環境局
関係先	市民、環境 NGO/NPO

【具体的施策 No.04】

取組み	「水」に対する関心を高めます
内容	<p>大阪市内河川の水環境の状況や生息する生き物の情報などを広く提供することによって、水環境に対する市民の関心を高めます。</p> <p>また、生き物にとって不可欠な「水」に対する関心を高めるため、水に関する講座・教室の開催や、市内の上下水道各施設を見学するツアーなどの取組みを実施します。</p>
関係所属等	環境局、建設局、水道局
関係先	国、大阪府

大阪市での水環境イベント

大阪市では、市民の皆さんに身近な河川等の水環境への関心と愛着を深めていただくため、川岸で地引網・投網体験ができる「楽しい水辺教室」や、簡単に水のきれいさが分かるパックテストで水質調査が行える出前講座など、地域の市民団体等と連携しながら、さまざまな水環境イベントを実施しています。



投網体験



パックテスト



地引網体験



干潟での生き物探し



出前講座（ECO 縁日）



出前講座（区民まつり）

方針Ⅲ 環境教育・啓発

生物多様性に関する普及啓発活動・環境学習の実施、各施設で行うホームページなどによる情報発信など、市民の生物多様性についての意識啓発を図ります。また、天王寺動物園では大阪府が事業実施する「おおさか生物多様性リンク」の協定連携先第1号として、生物多様性に関連する普及啓発等に取り組んでいきます。

【具体的施策 No.05】

取組み	環境活動推進施設（愛称「なにわECOスクエア」）を中心に環境学習事業を展開します
内容	<p>子どもから大人まで幅広い市民の環境問題への関心呼び起こし、環境問題と私たちの生活との関わりについて学び、家庭や学校、職場などのそれぞれの場において具体的な行動につなげていくため、環境 NGO/NPO などと連携し、大阪市の環境活動推進施設（愛称「なにわECOスクエア」）を中心拠点として環境学習事業を展開します。</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>このロゴマークは、大阪市の地図をシンボライズした大きな樹形。花のマークのところが「なにわECOスクエア」を示し、四季折々の花が楽しめることを表しています。</p> </div> 
関係所属等	環境局

【具体的施策 No.06】

取組み	生物多様性に関する出前講座などを実施しよう
内容	<p>学校園などで行われる環境学習会などへ講師を派遣し、生物多様性に関する出前講座を実施します。また、環境 NGO/NPO、事業者による出前講座などの取組みを促進します。</p> <p>【大阪市が実施する出前講座（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境問題に関するもの ○緑化や植物に関するもの ○生き物の生態や飼育系の仕事内容などに関するもの ○野生生物をとりまく環境などに関するもの
関係所属等	環境局、建設局、天王寺動物園
関係先	環境 NGO/NPO、事業者

【具体的施策 No.07】

取組み	「おおさか環境科」を活用した環境教育を実施します
内容	<p>すべての大阪市立小・中学校において、副読本「おおさか環境科」を活用し、地球温暖化、生物多様性、ごみ減量、都市環境保全など、持続可能な社会づくりに向けて、主体的に考え実践する態度を育成する環境教育を実施します。</p>
関係所属等	環境局、教育委員会事務局

【具体的施策 No.08】

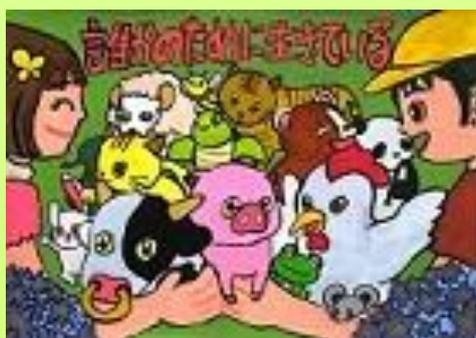
取組み	絵画などのコンクールを実施します
内容	<p>小学生が環境や身近な生き物、水道や水源環境などについて積極的に考え、行動する気持ちを育てることを目的として、コンクールを実施するとともに、優秀な作品の作者を表彰し、作品をホームページや市関連施設などで幅広く紹介します。</p> <p>【大阪市が実施するコンクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境に関するポスターコンクールを実施 ○水道や水源環境に関する「水」の絵コンクールを実施
関係所属等	環境局、水道局、教育委員会事務局など

こどもポスターコンクール

大阪市では、市内小学生を対象に、こどもポスターコンクールを開催しています。

環境にかかわる様々なテーマを設定して作品を募集しており、毎年多くの応募をいただいています。本コンクールを通じ、児童が自ら進んで環境に配慮した行動を実践しようとする態度を育てることをめざしています。

2018年度は「伝えよう生物多様性」をテーマに募集し、応募総数 753 作品の中から、あわせて 25 名の受賞作品を選出しました。受賞作品は、市内各所で展示を行うほか、ごみ収集車に掲示し市内を走行するなど、市民の皆さんへの普及啓発にも活用しています。



市長賞



環境局長賞



教育長賞



受賞作品を掲示したごみ収集車（2018年撮影）

【具体的施策 No.09】

取組み	環境イベントで生物多様性保全に関する普及啓発活動を実施しよう
内容	市民の自然環境保全に対する意識や関心を高めるため、環境 NGO/NPO などと連携して、「ECO 縁日」や「大阪自然史フェスティバル」などの環境イベントをはじめ、オンライン上や区役所へ積極的に出展し、多くの市民に対して自ら普及啓発活動に取り組んでいただけるよう、呼びかけます。
関係所属等	区役所、環境局、自然史博物館、環境科学研究センター
関係先	市民、環境 NGO/NPO、研究機関、事業者

【具体的施策 No.10】

取組み	環境教育・環境学習の指導者養成講座・研修を実施します
内容	地域で活躍されている方々や教職員などを対象とした環境教育・環境学習の指導者養成講座・研修を実施します。
関係所属等	こども青少年局、環境局、教育委員会事務局、自然史博物館

【具体的施策 No.11】

取組み	生物多様性保全に関するネットワークに参画します
内容	生物多様性保全に関するネットワークに参画して、市民の生物多様性保全などに関する意識や関心を高めるような普及啓発活動を推進します。 【大阪市が参画するネットワーク】 ○大阪生物多様性保全ネットワーク ○おおさか環境ネットワーク ○おおさか生物多様性施設連絡会 ○大阪湾見守りネット ○なにわエコ会議
関係所属等	環境局、建設局、自然史博物館、天王寺動物園

【具体的施策 No.12】

取組み	生物多様性センターなどの機関との連携を推進します
内容	大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センターなどの関係機関と連携し、生物多様性に関する普及啓発、情報発信をはじめ、生物についての調査研究に関すること、生物多様性の保全に資する取組みを推進します。 【主な取組み】 ○「おおさか生物多様性リンク」の取組みに基づく連携 天王寺動物園（2019年協定締結） 大阪市立大学理学部附属植物園（2020年協定締結）
関係所属等	環境局、天王寺動物園
関係先	大阪府、研究機関、大阪市立大学

【具体的施策 No.13】

取組み	生物多様性の保全に関する情報をホームページなど様々な媒体を用いて発信しよう
内容	生物多様性に関する情報を多くの市民や来訪者に知ってもらうため、民間事業者などと連携しながら、ホームページのほか、市内各所でのポスターや説明パネルの掲示など、様々な媒体を活用して幅広く発信します。
関係所属等	環境局、自然史博物館、教育委員会事務局、環境科学研究センター
関係先	環境 NGO/NPO、事業者

なにわエコスタイル

大阪市では、より多くの市民の皆さんに環境学習の機会をもっといただくため、身近な地域で環境講座やイベントを開催しています。

普段の生活に役立つ情報や市内の環境講座・イベント情報を大阪市環境学習情報サイト「なにわエコスタイル」やTwitterなどの各種 SNS で随時発信していますので、ぜひご覧ください。

詳しくは
こちら



大阪市環境学習情報サイト「なにわエコスタイル」





Twitter Facebook Instagram

【具体的施策 No.14】

取組み	生き物・植物調査の結果を活用します
内容	生き物・植物調査の結果について、イベントでの展示や学習会での発表を行い、大阪市の環境学習情報サイト「なにわエコスタイル」などに掲載するなど、市民などに対して幅広く紹介します。 調査結果のうち、学術的に貴重なものについては、必要に応じて学識経験者などと連携し、学術発表を行います。
関係所属等	区役所、環境局、自然史博物館、環境科学研究センター

【具体的施策 No.15】

取組み	生物多様性に関する資料・標本を収集し、普及啓発のために活用します
内容	生物多様性に関する資料や標本を収集し、長期継承的な保存体制を確立するほか、地域の自然環境の姿や成り立ちなどを明らかにするため、必要な調査研究を実施します。 また、資料や標本、調査研究結果を市民などに分かりやすい形で展示します。
関係所属等	自然史博物館、環境科学研究センター

大阪市立環境科学研究センター

大阪市立環境科学研究センターでは、水質や大気、廃棄物といった身近な生活環境に関する調査・研究に取り組むとともに、「開かれた研究所」として、環境問題や生き物をテーマにした市民向け講座や観察会などの支援を行っています。近年では、気候変動の影響とそれに伴う環境の変化を捉えるべく、動植物相や暑熱環境のモニタリングなど、独自の研究課題にも取り組んでいます。



公園池等に生息するプランクトンの同定



大阪市内で採集した動植物の標本作製・展示



干潟等におけるマイクロプラスチック汚染状況調査



夢洲における衛生動物の生息状況調査

【基本戦略 B】 自然空間の保全・創造

ねらい：市域での自然空間を保全・創造するとともに、広域的視点を持った取組みを進めます。

方針 I 生物多様性の保全

生物多様性を保全するためには、多様な主体との連携・協働により在来種の生息・生育環境を保全していくとともに、外来種の侵入・拡散を防止していくことが重要です。

そのため、野鳥園臨港緑地（もと南港野鳥園）や淀川をはじめとする市内の貴重な自然環境の保全に取り組むとともに、普段の生活の中で誰でも実施できる外来種対策の普及などに取り組めます。また、咲くやこの花館や長居植物園では、植物多様性保全拠点園として希少種保護対策を推進します。

【具体的施策 No.16】

取組み	生物多様性ホットスポットを保全しよう
内容	希少な生き物・植物の生息・生育地などとなっている生物多様性ホットスポットを保全するため、環境 NGO/NPO、市民、事業者などと連携して、清掃や草刈りなどの環境保全活動、オオクチバスなどの外来種の防除などに取り組めます。 【市内の生物多様性ホットスポット（大阪府レッドリスト 2014）】 <ul style="list-style-type: none">・淀川ワンド群・淀川汽水域・野鳥園臨港緑地（もと南港野鳥園）・夢洲・上町台地・大和川堤防
関係所属等	区役所、環境局、建設局、大阪港湾局、自然史博物館
関係先	市民、環境 NGO/NPO、事業者

事業者による環境保全活動「パナソニックエコリレージャパン」

市内の生物多様性ホットスポットを守る取組みは、行政のみならず、事業者でも行われています。

パナソニックエコリレージャパンでは、大阪市内に残された貴重な自然である淀川ワンドにおいて、絶滅危惧種であるイタセンパラなどの保護を目的に、清掃や外来生物の駆除・調査などの活動を行っています。地元企業や近隣大学、市民団体等も連携するなど、生物多様性の保全のため、多様な主体と協働して、環境保全活動に取り組んでいます。

このような取組みは、大阪市で実施している「大阪市環境表彰」において、環境保全に関し顕著な功績のあった事業者として、2019 年度に表彰されています。



淀川ワンドにおける取組み

【具体的施策 No.17】

取組み	生態系ネットワークの拠点となりうる貴重な自然環境を保全しよう
内容	<p>大阪市内には貴重な自然環境が残されており、生態系ネットワークを形成する上での拠点となりうるため、行政、環境 NGO/NPO、市民、事業者などが連携して、みどりや水辺の自然環境を保全します。</p> <p>【貴重な自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模な市営公園 <ul style="list-style-type: none"> ・広域公園：花博記念公園鶴見緑地 ・総合公園：毛馬桜之宮公園、靱公園、八幡屋公園、千島公園、中島公園、城北公園、南港中央公園 ・運動公園：長居公園 ・風致公園：中之島公園、矢倉緑地 ・動植物園：天王寺公園 ・歴史公園：大阪城公園、難波宮跡公園 ○寺社仏閣 <ul style="list-style-type: none"> ・今宮戎神社、大阪天満宮、住吉大社、露天神社、生國魂神社、杭全神社、大阪護国神社、四天王寺など ○保全配慮地区・特別緑地保全地区 <ul style="list-style-type: none"> ・保全配慮地区：夕陽丘・生玉保全配慮地区、天王寺保全配慮地区、杭全保全配慮地区、聖天山保全配慮地区 ・特別緑地保全地区：加賀屋特別緑地保全地区 ○霊園 <ul style="list-style-type: none"> ・瓜破霊園
関係所属等	環境局、建設局
関係先	市民、環境 NGO/NPO、研究機関、事業者

【具体的施策 No.18】

取組み	希少種の保護対策を推進しよう
内容	<p>大阪市内で生息・生育が確認されているイタセンパラ、ヒヌマイトトンボなどの希少生物や、カンサイタンボボ、ワンドスゲなどの希少植物について、行政、学識経験者、環境 NGO/NPO、市民、事業者などが連携して、生息域周辺の環境保全活動や外来種の防除に取り組むとともに、学術的調査研究を進めるなど、保護対策を推進します。</p> <p>また、調査結果については、市民などにわかりやすい形に取りまとめた上、ホームページなどに掲載するとともに、イベントや学習会などで発表します。さらに、学術的に貴重なものについては、学識経験者などと連携しながら学術発表を行います。</p>
関係所属等	区役所、環境局、建設局、自然史博物館、環境科学研究センター
関係先	市民、環境 NGO/NPO、研究機関、事業者

【具体的施策 No.19】

取組み	国内外の希少な動植物の生息域外保全を推進します
内容	<p>(公社)日本動物園水族館協会や(公社)日本植物園協会と連携し、国内外の希少種保護プログラムに取り組むなど、希少な野生動物の生息域外保全や貴重・希少な植物品種の保存に取り組めます。</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○植物多様性保全拠点園 <ul style="list-style-type: none"> ・咲くやこの花館 ・長居植物園
関係所属等	環境局、建設局、天王寺動物園

【具体的施策 No.20】

取組み	外来生物の侵入・拡散防止に取り組もう
内容	<p>大阪市内の在来種を保全する上で懸念される外来生物の侵入・拡散を防止するため、行政、環境 NGO/NPO、事業者などが連携して、飼っているペットを野外に捨てないなど市民が普段の生活の中で実施できる行動や外来種被害予防三原則など、外来生物に関する正しい知識の普及に取り組めます。</p> <p>また、国が主催する近畿地方外来生物対策連絡会議に参加し、国や自治体を実施する外来生物の防除などに関する情報を共有します。</p> <p>【外来種被害予防三原則（環境省）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪影響を及ぼすおそれのある外来生物を“入れない” ・飼養している外来生物を野外に“捨てない” ・すでに野外にいる外来生物を他地域に“拡げない” <p>【大阪市内でこれまで確認されている外来生物の例】</p> <p>○アライグマ、ヌートリア、ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）※、ウシガエル、オオクチバス、アカカミアリ、ヒアリ、クビアカツヤカミキリ、セアカゴケグモ、オオキンケイギク、ボタンウキクサ など</p> <p>【ペットとして飼育されている外来生物の例】</p> <p>○フェレット、リスザル、ワニガメ、グッピー、飼育型鯉、外国産カブトムシ・クワガタなど</p>
関係所属等	区役所、危機管理室、健康局、環境局、建設局、大阪港湾局、教育委員会事務局、自然史博物館、環境科学研究センター、天王寺動物園
関係先	国、市民、環境 NGO/NPO、研究機関、事業者

※ ミシシippアカミミガメの幼体は「ミドリガメ」の名称で販売されています。

特定外来生物—ヒアリ、クビアカツヤカミキリ

大阪市内でも、様々な外来生物が確認されています。外来生物には、ペット、観葉植物として意図的に持ち込まれたものや、人の服や靴、コンテナなどに付着して、意図せずに侵入したものがあります。

◆ヒアリ

ヒアリは赤茶色の小型のアリで、毒針を持ち、刺されると火傷のような激しい痛みを生じるため、“火蟻”の名があります。ヒアリの毒への反応は、人によって大きく異なります。



写真提供：環境省



環境省「特定外来生物ヒアリに関する情報」

- 全ての人にあらわれる症状：焼けるような痛み、かゆみ、膿
- ヒアリ類の毒にアレルギー体質を持っている人に起こる症状：じんましん、呼吸困難、血圧低下、意識障害など



写真提供：
（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所

◆クビアカツヤカミキリ

サクラ、ウメ、モモなど主にバラ科の樹木に発生し枯死させるクビアカツヤカミキリによる被害は、大阪府域でも確認されています。

加害が進むことにより、自然環境や農作物への被害拡大が懸念されます。

天王寺動物園で環境教育

動物園には、「種の保全」「教育・環境教育」「調査研究」「レクリエーション」の4つの使命があります。野生動物の生息数は年々減少しており、国際自然保護連合（IUCN：International Union for Conservation of Nature and Natural Resources）のレッドリストに絶滅のおそれがあるとして掲載されている動物（絶滅危惧種）は約15,000種あります。

絶滅危惧種となる原因としては、密猟などの乱獲や、開発による生息地の減少、環境汚染・環境破壊などが挙げられます。また、近年は地球温暖化による生息環境の変化や消失、人間が持ち込んだ外来生物などによる影響も深刻になっています。

密猟でよく知られているのはゾウのキバ（象牙）やトラの毛皮などがあり、アフリカゾウは密猟のせいで毎年20,000頭近くが命を落としています。

また、私たちの暮らしが豊かになるためには野生動物の生息環境を少なからず破壊することとなり、たとえば日本人が1人あたり年間約4kg消費しているパーム油（植物性油脂）を採取するために、オランウータンやボルネオゾウの生息地が切り開かれてなくなっているという事実があります。

さらに近年、我々の生活で排出された二酸化炭素などによる温室効果で気温が上昇し、雪や氷が解けることで海水面の上昇につながるほか、北極圏の氷が解けることでエサが捕れなくなったホッキョクグマの生息数が減るなどの悪影響が出ています。しかしながら、野生動物のおかれている悲惨な現状は、私たちの日常生活の中ではほとんど感じることができません。

そこで、動物園の実施する環境教育で野生動物の現状を学んでいただき、園内で飼育されている約40種類の希少動物を見ていただきながら『どうすれば生物多様性を守ることができるのか』を考えていただければと思います。



「生態的展示」を取り入れた
アフリカサバンナゾーン（天王寺動物園）



動物園内の教室でお話する「ズー・スクール」



園内を歩いて動物を解説する「動物園ガイドウォーク」

詳しくはこちら



天王寺動物園
公式YouTube
チャンネル



天王寺動物園
スタッフブログ



天王寺動物園
Facebook